

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 3 月 1 日(2022.3.1)

【公開番号】特開 2020-134682(P2020-134682A)

【公開日】令和 2 年 8 月 31 日(2020.8.31)

【年通号数】公開・登録公報 2020-035

【出願番号】特願 2019-27511(P2019-27511)

【国際特許分類】

G 0 3 B 1 7 / 5 6 ( 2 0 2 1 . 0 1 )

10

【 F I 】

G 0 3 B 1 7 / 5 6 J

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 2 月 17 日(2022.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【 0 0 0 7 】

本発明に係る接続装置は、電子機器が備えるアクセサリシュー装置に対して着脱可能な接続装置であって、前記アクセサリシュー装置に対して第 1 の方向における前方側へスライドさせることにより装着可能な係合部材と、前記係合部材を保持する保持部材と、前記係合部材と前記保持部材とを固定する第 1 及び第 2 の締結部材と、前記第 1 の方向の前方側に先端部が配置された複数の接続端子と、を備え、前記第 1 及び第 2 の締結部材は、前記第 1 の方向と直交する第 2 の方向において互いに離れた位置に配置されており、前記第 2 の方向において、前記保持部材の幅は前記係合部材の幅よりも短く、且つ、前記複数の接続端子は前記第 1 及び第 2 の締結部材の配設位置の間の領域に配置されていることを特徴とする。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子機器が備えるアクセサリシュー装置に対して着脱可能な接続装置であって、前記アクセサリシュー装置に対して第 1 の方向における前方側へスライドさせることにより装着可能な係合部材と、前記係合部材を保持する保持部材と、前記係合部材と前記保持部材とを固定する第 1 及び第 2 の締結部材と、前記第 1 の方向の前方側に先端部が配置された複数の接続端子と、を備え、前記第 1 及び第 2 の締結部材は、前記第 1 の方向と直交する第 2 の方向において互いに離れた位置に配置されており、前記第 2 の方向において、前記保持部材の幅は前記係合部材の幅よりも短く、且つ、前記複数の接続端子は前記第 1 及び第 2 の締結部材の配設位置の間の領域に配置されていることを特徴とする接続装置。

40

【請求項 2】

前記第 1 の方向での前記接続装置の位置を規制するロックピンを有し、

50

前記ロックピンは、前記第 2 の方向において前記第 1 及び第 2 の締結部材の配設位置の間の領域に配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の接続装置。

【請求項 3】

前記電子機器と電気的に接続されるシンクロナイザ接点を有し、  
前記シンクロナイザ接点は、前記第 2 の方向において前記第 1 及び第 2 の締結部材の位置の間の領域に配置されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の接続装置。

【請求項 4】

電子機器が備えるアクセサリシュー装置に対して着脱可能な接続装置であって、  
前記アクセサリシュー装置に対して第 1 の方向における前方側へスライドさせることにより装着可能な係合部材と、  
前記係合部材を保持する保持部材と、  
前記係合部材と前記保持部材とを固定する第 1 及び第 2 の締結部材と、  
前記第 1 の方向における前方側に先端部が配置された複数の接続端子と、  
前記第 1 の方向での前記接続装置の位置を規制するロックピンと、を備え、  
前記第 1 及び第 2 の締結部材は、前記第 1 の方向と直交する第 2 の方向において互いに離れた位置に配置されており、  
前記ロックピンは、前記第 2 の方向において前記第 1 及び第 2 の締結部材の位置の間の領域に配置されていることを特徴とする接続装置。

10

【請求項 5】

前記電子機器と電気的に接続されるシンクロナイザ接点を有し、  
前記シンクロナイザ接点は、前記第 2 の方向において前記第 1 及び第 2 の締結部材の位置の間の領域に配置されていることを特徴とする請求項 4 に記載の接続装置。

20

【請求項 6】

電子機器が備えるアクセサリシュー装置に対して着脱可能な接続装置であって、  
前記アクセサリシュー装置に対して第 1 の方向における前方側へスライドさせることにより装着可能な係合部材と、  
前記係合部材を保持する保持部材と、  
前記係合部材と前記保持部材とを固定する第 1 及び第 2 の締結部材と、  
前記第 1 の方向における前方側に先端部が配置された複数の接続端子と、  
前記複数の接続端子と異なる、前記電子機器と電気的に接続されるシンクロナイザ接点と、  
を備え、  
前記第 1 及び第 2 の締結部材は、前記第 1 の方向と直交する第 2 の方向において互いに離れた位置に配置されており、  
前記シンクロナイザ接点は、前記第 2 の方向において前記第 1 及び第 2 の締結部材の位置の間の領域に配置されていることを特徴とする接続装置。

30

【請求項 7】

前記係合部材は金属で形成されていることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の接続装置。

【請求項 8】

前記第 1 及び第 2 の締結部材はビスであり、  
前記ビスは前記係合部材を挿通して前記係合部材に締結されていることを特徴する請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の接続装置。

40

【請求項 9】

前記保持部材は、樹脂材料により一体的に形成されていることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の接続装置。

【請求項 10】

前記複数の接続端子は、  
前記第 1 の方向において伸延し、前記先端部が前記電子機器の端子と接触した際に、前記第 1 の方向および前記第 2 の方向と直交する第 3 の方向へ前記先端部を変位させる伸延部を有することを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の接続装置。

50

## 【請求項 1 1】

前記伸延部は、前記第 3 の方向に段差を有することを特徴とする請求項 1 0 に記載の接続装置。

## 【請求項 1 2】

前記伸延部は、前記第 1 の方向において前記段差より後方側の部分が前記第 3 の方向において前記係合部材と重なり、前記第 1 の方向において前記段差より前方側の部分が前記第 3 の方向において前記係合部材と重ならないことを特徴とする請求項 1 1 に記載の接続装置。

## 【請求項 1 3】

前記伸延部は、前記第 1 の方向において前記段差より前方側の部分が前記第 1 の方向において前記係合部材と重なり、前記第 1 の方向において前記段差より後方側の部分が前記第 1 の方向において前記係合部材と重ならないことを特徴とする請求項 1 1 又は 1 2 に記載の接続装置。

10

## 【請求項 1 4】

前記複数の接続端子は、前記第 1 の方向において前記伸延部の後方側に前記第 3 の方向に延びる延直部を有し、

前記第 1 及び第 2 の締結部材は、前記第 1 の方向において前記延直部よりも前方側に配置されていることを特徴とする請求項 1 0 乃至 1 3 のいずれか 1 項に記載の接続装置。

## 【請求項 1 5】

前記第 1 及び第 2 の締結部材は、前記第 2 の方向において前記複数の端子の位置の間の領域に配置されていないことを特徴とする請求項 1 乃至 1 4 のいずれか 1 項に記載の接続装置。

20

## 【請求項 1 6】

請求項 1 乃至 1 5 のいずれか 1 項に記載の接続装置を備えることを特徴とするアクセサリ。

## 【請求項 1 7】

請求項 1 乃至 1 5 のいずれか 1 項に記載の接続装置の着脱が可能なアクセサリシュー装置であって、

前記接続装置を前記第 1 の方向における前方側にスライドさせることにより前記接続装置の前記係合部材と係合する被係合部材と、

30

前記第 1 の方向における前方側に配置され、前記係合部材が前記被係合部材と係合した状態で前記接続端子と接触する信号端子と、を備えることを特徴とするアクセサリシュー装置。

## 【請求項 1 8】

請求項 1 7 に記載のアクセサリシュー装置を備えることを特徴とする電子機器。

40

50